

《担当者名》2024年度開講なし

【概要】

医療経済の世界的成り立ちを踏まえて、幾つかのトピックを取りあげて考察する。基本文献に沿って医療経済の基礎を確認しながら、現代日本経済が直面する少子高齢化、グローバル化、地域社会の衰退などに関連した問題を調査し議論する。

【学修目標】

1. 基本的知識の学びを、現代社会のなかで意義づけすることができる。
2. 日本や世界の将来を医療経済の観点から見通し、研究や臨床現場に生かすことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～4	理論	福祉および医療の世界的見取り図および方法論を学ぶ	
5～8	歴史	人口変化などの歴史的現象と医療経済の関係を学ぶ	
9～12	実践	国際社会および地域社会におけるリハビリテーションを人間関係および参加型開発などの視点から学ぶ	
13～15	発表	地域社会における医療および福祉の取組みの事例を発表する	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

議論50%、発表50%

【教科書】

授業中に指示する

【参考書】

授業中に指示する

【学修の準備】

関連文献を各自読んでおくこと。1回の授業に予習2時間、復習1時間程度を必要とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。